

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2007-522012

(P2007-522012A)

(43) 公表日 平成19年8月9日(2007.8.9)

(51) Int. Cl.

B60J 3/02 (2006.01)

F I

B60J 3/02

F

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 14 頁)

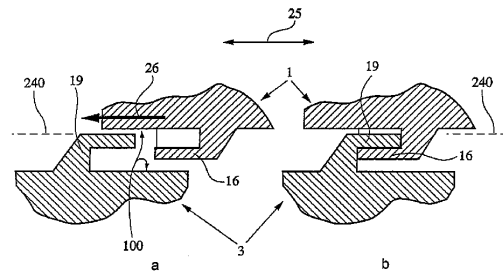
(21) 出願番号 特願2006-552480 (P2006-552480)
 (86) (22) 出願日 平成17年1月7日 (2005.1.7)
 (85) 翻訳文提出日 平成18年8月21日 (2006.8.21)
 (86) 国際出願番号 PCT/EP2005/000079
 (87) 国際公開番号 W02005/080106
 (87) 国際公開日 平成17年9月1日 (2005.9.1)
 (31) 優先権主張番号 102004007489.5
 (32) 優先日 平成16年2月13日 (2004.2.13)
 (33) 優先権主張国 ドイツ (DE)

(71) 出願人 505448659
 ジョンソン コントロールズ インテリア
 ズ ゲーエムペーハー アンド コー.
 カーゲー
 ドイツ国 47929 グレーフラス
 ミュルハウゼナー シュトラーセ 35
 (74) 代理人 100083806
 弁理士 三好 秀和
 (74) 代理人 100095500
 弁理士 伊藤 正和
 (74) 代理人 100111235
 弁理士 原 裕子
 (72) 発明者 ベック、フレデリック
 フランス国 エフ-57220 プーシュ
 ポール ルー ドゥ ポルスレット 14
 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 車両に使用するために設計される部品、特に、サンバイザーおよび部品の製造方法

(57) 【要約】

本発明は、車両での使用のために設計される部品、特に、サンバイザーに関し、前記部品は構造部分(3)とカバー部分(1)とを有し、カバー部分(1)は取外し可能な連結により構造部分(3)に連結される。さらに、本発明によると、連結部を作るために、カバー要素(1)は、カバー要素(1)の少なくとも一方の主延長方向(250)に対して接線方向(25)で構造部分(3)に関して連結移動(26)を行う。



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

車両での使用のために設計される部品(2)、特に、サンバイザー(2)において、前記部品(2)は構造部分(3)とカバー要素(1)とから成り、カバー要素(1)は取外し可能な連結により構造部分(3)に連結され、構造部分(3)に関するカバー要素(1)の連結運動(26)は、カバー要素(1)の少なくとも一方の主延長方向(25)に対して実質的に接線方向(25)で、連結を生じるために提供されることを特徴とする前記部品(2)。

【請求項 2】

カバー要素(1)は実質的に平面(240)内で少なくとも一方の主延長方向(250)を有し、連結運動(26)は実質的に平面(240)内で行われることを特徴とする請求項1に記載の部品(2)。

10

【請求項 3】

カバー要素(1)は実質的に円筒形周面内で少なくとも一方の主延長方向(250)を有し、連結運動(26)は実質的に円筒形周面内で行われることを特徴とする請求項1に記載の部品(2)。

【請求項 4】

構造部分(3)またはカバー要素(1)の少なくとも1つの第1スライド要素(16、17、18)は、平面(240)内または円筒形周面内に配置されることを特徴とする前記請求項の内の1項に記載の部品(2)。

20

【請求項 5】

カバー要素(1)を構造部分(3)に関し、少なくとも平面(240)または円筒形周面に対して垂直な運動に関してロックするために、少なくとも1つの第1スライド要素(16、17、18)は少なくとも1つの第2スライド要素(19、20、21)と協働することを特徴とする前記請求項の内の1項に記載の部品(2)。

【請求項 6】

カバー要素(1)を構造部分(3)に関し、平面(240)内または円筒形周面内での運動に関してロックするために、スナップイン連結部(22、23)が、カバー要素(1)と構造部分(3)との間に設けられることを特徴とする前記請求項の内の1項に記載の構成部品(2)。

30

【請求項 7】

スナップイン連結部(22、23)は可逆的に取外しできることを特徴とする前記請求項の内の1項に記載の部品(2)。

【請求項 8】

スナップイン連結部(22、23)は不可逆的にだけ取外しできることを特徴とする前記請求項の内の1項に記載の部品(2)。

【請求項 9】

カバー要素(1)はフレーム形状に設けられることを特徴とする前記請求項の内の1項に記載の部品(2)。

40

【請求項 10】

部品(2)はミラー(10)付のサンバイザー(2)であり、カバー要素(1)は、少なくともミラー(10)の縁領域をカバーするために設けられることを特徴とする前記請求項の内の1項に記載の部品(2)。

【請求項 11】

少なくとも1つの第1スライド要素(16、17、18)と少なくとも1つの第2スライド要素(19、20、21)は、少なくとも部分的に接触するように、第1ステップにおいて、カバー要素(1)と構造部分(3)が相互に関して配置され、第2ステップでは、構造部分(3)に関するカバー要素(1)の連結運動(26)は、カバー要素(1)の少なくとも一方の主延長方向(250)に対して実質的に接線方向で行われることを特徴

50

とする、特に、前記請求項の内の1項に記載の部品(2)を製造する方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、車両に使用するために設計される部品、特に、サンバイザーに関するものである。

【背景技術】

【0002】

特に、車両の内部で使用されるそのような部品は周知である。一方では、そのような部品は軽量で費用対効果のあるものでなければならない。他方では、それらの組立体は費用対効果のあるものでなければならない。また、それらが、時々、温度条件や発振条件および/または振動条件に関する極端な状況を受ける間で長期の寿命を持つものでなければならない。さらに、それらの有効寿命の終了において、そのような部品は、また、材料の有効利用(リサイクル)のために容易に、とりわけ、完全に手に入れることができるものでなければならない。最後に、そのような部品は、特に、それらが、度々、車両の利用者の通常の視野に入る時に美的で魅力的に設計されていなければならない。

【0003】

周知な部品によると、部品の構造要素に対する個々の部分の外部固着のために、いわゆるスナップイン結合部または、クリップ結合部を使用することは普通である。そのようなスナップイン結合部は、一般的に部品の対応する窪み内で挿入要素と係合し、挿入要素も、部品自体が最初に偏倚され、それから、連結中に、窪みの領域内でスナップインされる。ここでは、挿入運動は、一般的にカバーされる部品の表面および/または面に対して実質的に垂直に配列される(挿入要素と窪みも同様である。)

【0004】

安定した保持を確保するために、一般的に複数のそのような挿入要素が存在し、複数の挿入要素が最後にスナップインできる前に、組立て中に複数の挿入要素が常に最初に、それらの対応する窪み内で整列されなくてはならないという結果となる。これらの2つのステップは、同じ方向での運動(すなわち、窪み内への挿入要素の挿入)であるので、2つのステップは組合せができ、それで、例えば、複数の挿入要素の1つが既にスナップインされ、一方、別の挿入要素は、さらに整列されねばならず、このことは、しかしながら、一方の挿入要素が既にスナップインされているので最早、不可能であることがある。それ故、従来周知な部品では、組立てが困難であり、自動化が困難であり、さらに、例えば、不良品率が高いので費用がかかる。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

それで、本発明の目的は、従来技術の欠点を回避する車両で使用するために設計される部品、特に、サンバイザーを提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

この目的は、本発明によると車両で使用されるために設計される部品、特に、サンバイザーにより達成され、部品は構造部分とカバー要素とから成り、カバー要素は取り外し可能な連結部により構造部分に連結され、構造部分に関するカバー要素の連結運動は、カバー要素の少なくとも一方の主延長方向に対して実質的に接線方向で連結を生じるために提供される。結果として、部品の組み立て中に、カバー要素を最初に構造部分に関して明確に配置できることが容易となり、相対運動により、第一方向に配置でき、続いて、連結を生じ、カバー要素を別の方向、すなわち、主延長方向に対して実質的に接線的に運動できる。

【0007】

本発明によると、カバー要素は実質的に平面および/または実質的に円筒形周面上に少

なくとも一方の主延長方向を有し、連結運動は実質的に平面および/または実質的に円筒形周面で行われるのが望ましい。一般的に、カバー要素は、例えば、部品内または部品上で対向して配置される他方の要素の縁をカバーするために使用され、部品が完全に組立てられると、カバー要素は残りの部品との特別な延長の予定の接合面を有する。この予定の接合面は実質的に平坦にでき、カバー要素の少なくとも一方の主延長方向は、実質的に一方の平面に延びる。他方、この予定の接合面は1つまたは2つの空間方向で湾曲にできる。一方の空間方向での湾曲により、予定の接合面は円筒形周面に対応する。2つの空間方向での湾曲により、予定の接合面は球形シェルに対応する。これらの各場合には、本発明によると、カバー要素を残りの部品に関して、特に、予定の接合面内、すなわち、例えば、平面、円筒形周面または球形シェル内の構造部分に関して移動できる。

10

【0008】

さらに、構造部分またはカバー要素の少なくとも1つの第1スライド要素が平面または円筒形周面内に配置されるのが望ましい。本発明によると、そのようなスライド要素は、望ましくは、部品の第1生成ステップ中に行われる位置決め運動のための停止体として使用される。

【0009】

少なくとも平面または円筒形周面に対して垂直な運動に関して、カバー要素を構造部分にロックするために、少なくとも1つの第1スライド要素が少なくとも1つの第2スライド要素と協働するのが望ましい。結果として、カバー要素と構造部分との間でロックを達成することが容易にできる。

20

【0010】

さらに、平面または円筒形周面内の運動に関して、カバー要素を構造部品に関してロックするために、スナップイン連結部がカバー要素と構造部分との間で設けられるならば有利である。結果として、追加の方向でカバー要素に対して構造部分の連結部をロックできる。

【0011】

さらに、スナップイン連結部は可逆的に取外しできるのが望ましい。それから、前記の連結は必要であれば、取り外しができる。ここでは、結果として、連結部の偶然な取り外しにより、エラーの大きい可能性があることを考慮しなければならない。

【0012】

さらに、スナップイン連結部は不可逆的に取外しできるだけで有利である。結果として、実質的に偶然に連結部を開放できないことが確保される。少なくともスナップイン連結部の一部分を破壊することにより連結部を分離できるだけである。

30

【0013】

カバー要素がフレーム形状に設けられ、部品がミラー付のサンバイザーであれば、特に望ましく、カバー要素は少なくともミラーの縁領域をカバーするために設けられる。この場合、美的カバー、特に、シールされた縁付き移行領域を作ることが容易にでき、および/または、特に、ミラーの周囲にカバーを作ることが容易にできる。

【0014】

本発明の別の主題は、特に、本発明により部品を製造する方法であり、第1ステップで、少なくとも1つの第1スライド要素と少なくとも1つの第2スライド要素とが、少なくとも部分的に接触するように、カバー要素と構造部分とが配置され、第2ステップで、構造部分に関するカバー要素の連結運動が、カバー要素の少なくとも一方の主延長方向に対して実質的に接線方向で行われる。結果として、そのような部品の製造は改良ができ、特に促進でき、費用を減少できる。

40

【実施例】**【0015】**

次に、図面で示される実施例を参照して本発明を詳細に説明する。

【0016】

本発明による部品2の一例として、サンバイザー2の斜視図が図1で示される。サンバ

50

イザー 2 は、図 1 で参照番号を付されていないミラー領域を囲み、および/またはミラー領域の内の縁領域を少なくとも部分的にカバーするカバー要素 1 を有する。ミラーは化粧用ミラー等として設けてもよく、特に、照明装置を備えてもよいが、照明装置は必須でなくてよい。さらに、本発明によると、ミラー領域および/またはミラーは、カバー要素に加えて、参照番号が付されていないカバーを設けるようにしてもよい。

【0017】

サンバイザー 2 および/または部品 2 の構造を明白にするために図 2 において分解図で図示され、特に、装飾材 5 と (少なくとも) 1 つの成形体 4 が見える。本発明による部品 2 の例として、サンバイザー 2 は、それぞれ、その上面上および下面上で装飾材 5 と成形体 4 とから成る。この例では、構造部分 3 は成形体 4 の間に配置され、成形体上には、構造部分、例えば、電気構造要素および/または部品 2 および/またはサンバイザー 2 の導線 (図 2 では参照番号では示されていない。) が配列される。サンバイザー 2 の上面と下面の存在は、サンバイザー 2 が一般的に両側に可視面を有するからであり、すなわち、サンバイザーの折り畳まれた位置により、使用者は下面と上面を見ることができるとある。この特徴は、本発明によると、車両、特に自動車のあらゆる部品に設ける必要はない。例えば、ドアを化粧張りするために設けられる部品 2 または車内の別の部品のためには、前記の部品は一方の可視面だけを有することができる。この場合、そのような部品 2 は 1 つの成形体 4 と 1 つの装飾材 5 とだけ有することができる。

10

【0018】

サンバイザー 2 の上面だけを下記で詳細に説明する。サンバイザー 2 の上面は成形体 4 と装飾材 5 を備え、装飾材 5 (例では、成形体 4 も) は開口を有する。装飾材 5 内の開口は参照番号 5 3 で示され、成形体 4 内の開口は参照番号 4 3 で示される。部品 2 の例としてのサンバイザー 2 には特に、片側に設けられるミラーのために開口 4 3、5 3 がある。しかしながら、別の部品 2 では、対応する開口 4 3 は他の目的のために使用できるであろう。本発明によると、装飾材 5 は開口 5 3 の周囲で縁領域 5 1 を有し、縁領域において装飾材 5 は最後に成形体 4 に固定されねばならない (それで、例えば、装飾材 5 にしわが生じない。)。例えば、これは、装飾材 5 を曲げ戻すことで起こすか、追加の固着要素 6 によって起こすことができる。

20

【0019】

全てが実質的に構造部分 3 の内部で一体化され、および/または上部に装着される部品 2 の電気的および機械的な機能を確保する本質的な要素が、図 3 の分解図で図示される。例えば、スライドカバー 8、カバースプリング 9、ミラー 10、枢動装置 11、枢動スプリング 12、電気接続ユニットは、構造部分 3 に固着され、電気接続ユニットは、例えば、2 つのコネクタ 13 と、2 本の導線 14 と、1 つのスイッチ 15 とから成る。枢動装置 11 と枢動スプリング 12 はサンバイザー 2 が枢動可能に配置できるようにする。

30

【0020】

カバー要素 1 の後面 (すなわち、カバー要素 1 の可視面から遠方に向く面) は、カバー要素 1 の主延長方向 250 と、主延長方向 250 に対して実質的に接線的に設けられる方向 25 との表示と共に図 4 で図示される。カバー要素 1 は複数の第 1 スライド要素 16、17、18 を有し、例えば、その内の 4 つは、それぞれ、例えば、フレーム形状に構成されるカバー要素 1 の長手側に設けられ、参照番号 16 により表示され、例えば、3 つは、カバー要素 1 の狭い側の一方に設けられ、参照番号 17 で表示され、例えば、2 つは、カバー要素 1 の狭い側の他方に設けられ、参照番号 18 で表示される。第 1 スライド要素 16、17、18 は、以下の説明ではカバー要素 1 の位置に関係がないと考えられる。すなわち、本発明によると、1 つの第 1 スライド要素 16 だけを設けることができる。カバー要素 1 は第 1 スナップイン要素 22 も有する。

40

【0021】

この例では、カバー要素 1 は第 1 主延長方向 250 と、別の主延長方向 260 とを有し、これらの両方の延長方向は平面 240 を形成する。局所的な窪み部および/または突出部は別として、平面 240 は残りの部品 2 との接合面を形成し、前記表面はカバー要素 1

50

により少なくとも部分的にカバーされるように設計される。

【0022】

本発明による部品2の構造部分3の前方面(すなわち、カバー要素により少なくとも部分的にカバーされる予定である面)は図5で示される。構造部分3は第1スナップイン要素22と協働する第2スナップイン要素23を有する。さらに、構造部分3はカバー部分1に適合される受入部を有し、例えば、カバー要素1のためのフレーム形状受入部(カバー要素は、例えば、フレーム形状でもある)を有する。構造部分3は、また、複数の第2スライド要素19、20、21を有し、その内の4つは、例えば、それぞれ、フレーム形状受入部の長手側に設けられ、参照番号19で示され、3つは、例えば、フレーム形状受入部の狭い側の一方に設けられ、参照番号20で示され、2つは、例えば、フレーム形状受入部の狭い側の他方に設けられ、参照番号21で示される。

10

【0023】

構造部分3とカバー要素1および/または連結を行うスライド要素との間の連結運動は、図6aと図6bにおいて拡大図で示され、参照番号16は、例えば、第1スライド要素のために使用され、参照番号19は、例えば、第2スライド要素のために使用される。

【0024】

スライド運動26を行う前の状態は図6aで示される。第1スライド要素16は、まだ、第2スライド要素19に係合されず、カバー要素1は、平面240と垂直な方向(図面では参照番号により別々に示されない。)で、構造部分3に関して、まだ、ロックされていない。本発明によると、スライド要素16、19は、この状態ではスライド表面100と接触し、それで、平面と垂直な方向で停止体が形成されるようにできる。

20

【0025】

カバー要素1の一方の主延長方向250に対して接線的である方向25で行われる連結運動26により、図6bで示される状態に到達し、カバー要素1は平面240と垂直な運動に関してロックされる。

【0026】

主延長方向250に対して接線的である方向25である運動に関して、カバー要素1をロックするために、第2スナップイン要素23との第1スナップイン要素22のスナップイン連結部が図7において拡大図で示される。カバー要素1、構造部分3、第1スナップイン要素22、第2スナップイン要素23に加えて、成形体4(それぞれ、上面用と下面用)、装飾材5(それぞれ、上面用と下面用)、ミラー10、スライドカバー8および固着要素6も示される。

30

【図面の簡単な説明】

【0027】

【図1】本発明による部品の例としてのサンバイザーの斜視図を示す。

【図2】サンバイザーおよび/または部品の構造の分解図を示し、特に、カバー要素は見える。

【図3】部品の電氣的機能および機械的機能を確保する本質的要素の分解図を示す。

【図4】カバー要素の主延長方向と実質的に接線方向の表示と共にカバー要素の後面を示す。

40

【図5】本発明による部品の構造部分の前面を示す。

【図6】図6aおよび図6bは連結を行う運動および/または連結を行う要素の拡大図を示す。

【図7】連結運動の方向での運動に関してカバー要素をロックするスナップイン連結部の拡大図を示す。

【符号の説明】

【0028】

1 カバー要素 2 部品および/またはサンバイザー 3 構造部分 4 成形体
5 装飾材 6 固着要素 8 スライドカバー 9 カバースプリング 10 ミラー
11 枢動装置 12 枢動スプリング 13 コネクタ 14 導線 15 スイッチ

50

16、17、18 第1スライド要素 19、20、21 第2スライド要素
22 第1スナップイン要素 23 第2スナップイン要素 25 接線方向
26 連結運動 41 縁 43 成形体内の開口 51 縁領域
53 装飾材内の開口 100 スライド表面 240 平面 250 主延長方向
260 別の主延長方向

【図1】

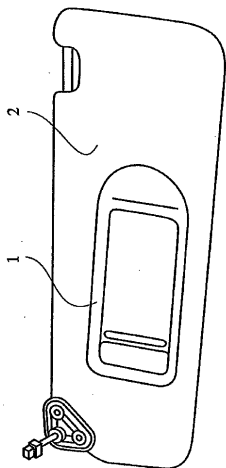


Fig. 1

【図2】

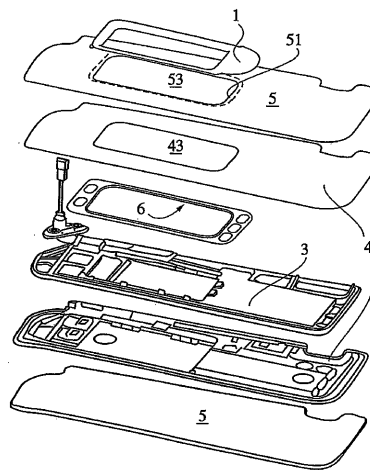


Fig. 2

【 図 3 】

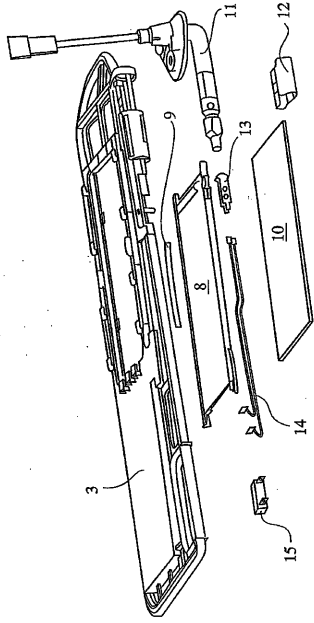


Fig. 3

【 図 4 】

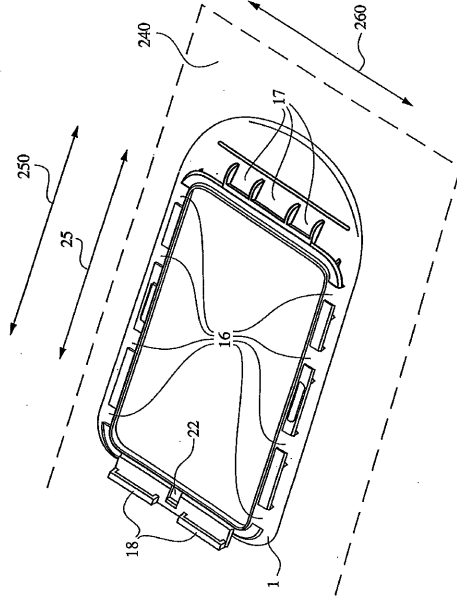


Fig. 4

【 図 5 】

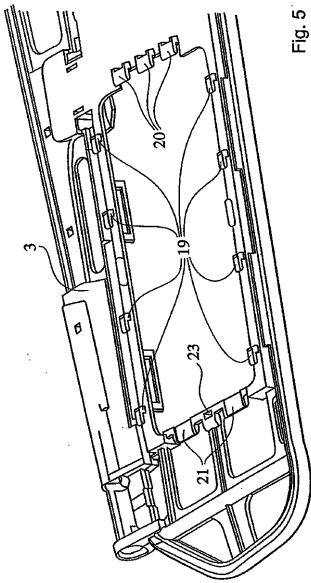


Fig. 5

【 図 6 a 】

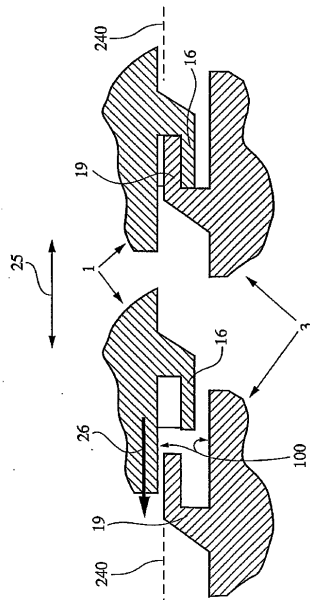
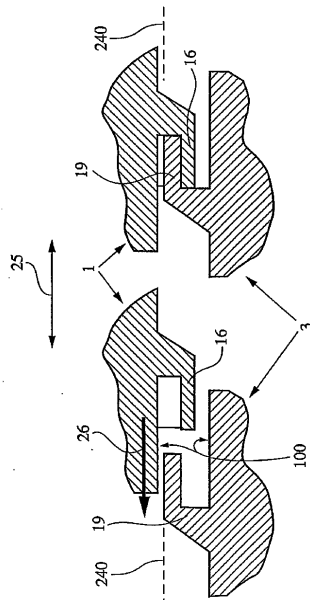


Fig. 6a

Fig. 6b

【 図 6 b 】



【 6 b 】

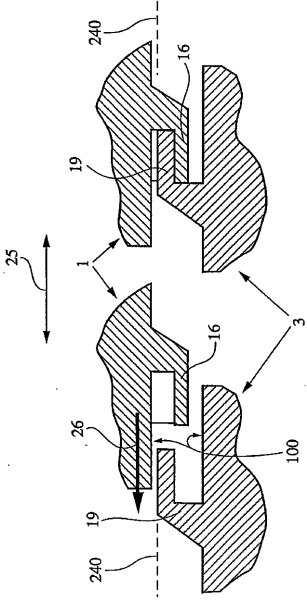


Fig. 6a

Fig. 6b

【 7 】

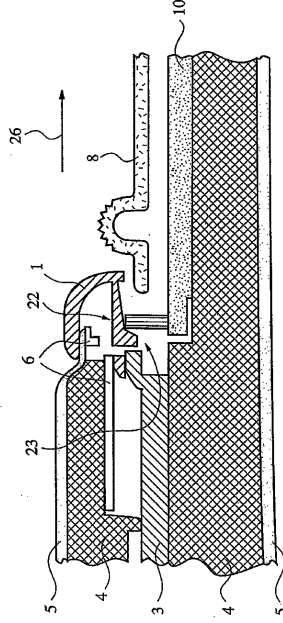


Fig. 7

【 国際調査報告 】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International Application No PCT/EP2005/000079
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER IPC 7 B60J3/02 F16B5/07 F16B5/06		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) IPC 7 B60J F16B		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the International search (name of data base and, where practical, search terms used) EPO-Internal		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	DE 75 26 219 U (LICENTIA PATENT-VERWALTUNGS-GMBH, 6000 FRANKFURT) 8 January 1976 (1976-01-08) page 2; figure 1	1-8,11
X	US 5 580 118 A (CROTTY, III ET AL) 3 December 1996 (1996-12-03) column 5, line 5 - line 45; figures 5,6	1-4,9,10
X	DE 28 14 656 A1 (DAIMLER-BENZ AG; DAIMLER-BENZ AG, 7000 STUTTGART) 11 October 1979 (1979-10-11) page 4 - page 5; figures	1-8,11
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of box C. <input checked="" type="checkbox"/> Patent family members are listed in annex.		
* Special categories of cited documents : *A* document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance *E* earlier document but published on or after the international filing date *L* document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) *O* document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means *P* document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed *T* later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention *X* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone *Y* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art. *Z* document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 25 April 2005		Date of mailing of the international search report 10/05/2005
Name and mailing address of the ISA European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl, Fax: (+31-70) 340-3016		Authorized officer Granger, H

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International Application No
PCT/EP2005/000079

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
DE 7526219	U	NONE	
US 5580118	A	03-12-1996	US 6131985 A 17-10-2000 US 5823603 A 20-10-1998
DE 2814656	A1	11-10-1979	NONE

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

 Internationales Aktenzeichen
 PCT/EP2005/000079

A. KLASSIFIZIERUNG DES ANMELDUNGSGEGENSTANDES IPK 7 B60J3/02 F16B5/07 F16B5/06		
Nach der Internationalen Patentklassifikation (IPK) oder nach der nationalen Klassifikation und der IPK		
B. RECHERCHIERTE GEBIETE		
Recherchiertes Mindestprüfstoff (Klassifikationssystem und Klassifikationssymbole) IPK 7 B60J F16B		
Recherchierte aber nicht zum Mindestprüfstoff gehörende Veröffentlichungen, soweit diese unter die recherchierten Gebiete fallen		
Während der Internationalen Recherche konsultierte elektronische Datenbank (Name der Datenbank und evtl. verwendete Suchbegriffe) EPO-Internal		
C. ALS WESENTLICH ANGESEHENE UNTERLAGEN		
Kategorie*	Bezeichnung der Veröffentlichung, soweit erforderlich unter Angabe der in Betracht kommenden Teile	Betr. Anspruch Nr.
X	DE 75 26 219 U (LICENTIA PATENT-VERWALTUNGS-GMBH, 6000 FRANKFURT) 8. Januar 1976 (1976-01-08) Seite 2; Abbildung 1	1-8, 11
X	US 5 580 118 A (CROTTY, III ET AL) 3. Dezember 1996 (1996-12-03) Spalte 5, Zeile 5 - Zeile 45; Abbildungen 5,6	1-4, 9, 10
X	DE 28 14 656 A1 (DAIMLER-BENZ AG; DAIMLER-BENZ AG, 7000 STUTTGART) 11. Oktober 1979 (1979-10-11) Seite 4 - Seite 5; Abbildungen	1-8, 11
<input type="checkbox"/> Weitere Veröffentlichungen sind der Fortsetzung von Feld C zu entnehmen <input checked="" type="checkbox"/> Stehe Anhang Patentfamilie		
* Besondere Kategorien von angegebenen Veröffentlichungen : "A" Veröffentlichung, die den allgemeinen Stand der Technik definiert, aber nicht als besonders bedeutsam anzusehen ist "E" älteres Dokument, das jedoch erst am oder nach dem internationalen Anmeldedatum veröffentlicht worden ist "L" Veröffentlichung, die geeignet ist, einen Prioritätsanspruch zweifelhaft erscheinen zu lassen, oder durch die das Veröffentlichungsdatum einer anderen im Recherchenbericht genannten Veröffentlichung belegt werden soll oder die aus einem anderen besonderen Grund angegeben ist (wie ausgeführt) "O" Veröffentlichung, die sich auf eine mündliche Offenbarung, eine Benutzung, eine Ausstellung oder andere Maßnahmen bezieht "P" Veröffentlichung, die vor dem internationalen Anmeldedatum, aber nach dem beanspruchten Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist "I" Spätere Veröffentlichung, die nach dem internationalen Anmeldedatum oder dem Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist und mit der Anmeldung nicht kollidiert, sondern nur zum Verständnis des der Erfindung zugrundeliegenden Prinzips oder der ihr zugrundeliegenden Theorie angegeben ist "X" Veröffentlichung von besonderer Bedeutung; die beanspruchte Erfindung kann allein aufgrund dieser Veröffentlichung nicht als neu oder auf erfinderischer Tätigkeit beruhend betrachtet werden "Y" Veröffentlichung von besonderer Bedeutung; die beanspruchte Erfindung kann nicht als auf erfinderischer Tätigkeit beruhend betrachtet werden, wenn die Veröffentlichung mit einer oder mehreren anderen Veröffentlichungen dieser Kategorie in Verbindung gebracht wird und diese Verbindung für einen Fachmann naheliegend ist "&" Veröffentlichung, die Mitglied derselben Patentfamilie ist		
Datum des Abschlusses der Internationalen Recherche 25. April 2005		Absenddatum des Internationalen Recherchenberichts 10/05/2005
Name und Postanschrift der Internationalen Recherchenbehörde Europäisches Patentamt, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl, Fax: (+31-70) 340-3016		Bevollmächtigter Bediensteter Granger, H

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Angaben zu Veröffentlichungen, die zur selben Patentfamilie gehören

Internationales Aktenzeichen
PCT/EP2005/000079

Im Recherchenbericht angeführtes Patentdokument	Datum der Veröffentlichung	Mitglied(er) der Patentfamilie	Datum der Veröffentlichung
DE 7526219	U	KEINE	
US 5580118	A	03-12-1996	US 6131985 A 17-10-2000 US 5823603 A 20-10-1998
DE 2814656	A1	11-10-1979	KEINE

 フロントページの続き

(81) 指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), EP(AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW

(72) 発明者 ジュン、 ステファーン
 フランス国 エフ - 5 7 4 1 5 アンシェンベルクルー ドゥ シャトー ド'オー 1 6 7

(72) 発明者 デルス、 クリティアン
 フランス国 エフ - 5 7 6 4 5 レトンフェイ プラス デュ ゲ 1 7

(72) 発明者 ストリシェール、 ガブリエル
 フランス国 エフ - 5 7 6 6 0 レイニング ルードゥ ラ フォンテーヌ 2 5

(72) 発明者 ウェルター、 パトリック
 フランス国 エフ - 5 7 7 3 0 ラシャンブル ルー プリンシパル 1 2

(72) 発明者 セルヴィニ、 フレデリック
 フランス国 エフ - 5 7 5 5 0 ファルク ルー ドゥ ラ ロシェ ボセイ 2 8